

カントリーウォーク 秋谷の峯山地区を歩く

日時:2016年1月21日(木) 天候:晴れ時々曇り 11000歩 約8km

集合:京急新逗子駅 10時

コース:新逗子駅→子産石(バス)→熊野神社→峯山→葉山御用邸→葉山バス停→新逗子駅

参加者:吉越(L) 佐藤伊 平嶋 平石 熊坂 仲 伊藤真 青松秀 佐藤繁 斉藤優 小林俊 森川 清水修 落合 山川
市村 山下 平林勝 志村 小林久 長松 武倉 木村 青松美 栗山 奥村 中林 小島重 計28名

首都圏ではこの冬初の本格的な積雪を記録し、日本列島全体も大荒れとなりましたが、この日は強風も収まりまるで春のような陽ざしの中のウォーキングとなりました。新逗子駅からはバスで子産石(こうみいし)停まで行き、ベタ風の海岸に出て遙か大島や富士山を眺めながらここで吉越Lからコースの説明。難易度から自己申告で4組に分け峯山地区に向け出発しました。葉山と言えば著名人の別荘や企業の保養所、我々の年代には石原裕次郎を思い浮かべますが、今や時代は移り別荘地や保養所跡は老人ホーム等にとって替わり、町全体も何となく沈滞ムードですが、その隣に位置する秋谷地区は横須賀市となりまた違った趣を漂わせています。今回歩く峯山エリアは初めてなので、どのような風景が展開されるのか大いに興味がありました。私は“健脚組”の4組に入りましたが、標高は低いものの結構なアップダウンのコースで、足元が滑りそうな箇所があったりミニジャングルのような道もあって、まさにカントリーウォークそのものでした。しかし尾根道からは眼下に光り輝く相模湾が広がり我々の目を楽しませてくれました。(なお本レポートは、途中から4組だけの内容となります) <フォトレポート 小島重>



<菜の花畑をバックに笑顔がはじける健脚の4組。組を分けたので参加者全員の集合写真は撮れませんでした>

※健脚組:佐藤伊 平石 伊藤真 佐藤繁 斉藤優 森川 清水修 市村 山下 長松 小島重 計11名

以上、“微妙”な選抜(?)メンバーでした!



朝の新逗子駅前バス停。



我々が乗ると満員です。バス会社は臨時増収！



子産石バス停で下車。



バス停先の熊野神社下で一旦集合。



熊野神社へのお参りはご自由に。



何やらお願い事が...



ここに水準点がありました。



熊野神社の階段下から海へ。



これが子産石です。



小さな浜辺で改めて全員集合です。



ここで吉越しより本日のコースと組分けの説明。



出発前にオゾンを吸って...



波打ち際で見つけたこれ...キャー、何者？



目の前には大島が。



富士山の西側は麓まで雪化粧です。



ここから峯山地区に向かいます。



里山の風景が広がって...



新興住宅地らしき場所を上ります。



どっちに行くの？もう暫くは同じコースを歩くことに。



この風景、ここは何処・・・エーゲ海or地中海？いえ、相模湾です！



正面から陽を浴びて坂道も快適です。



眺めは良さそうですが地盤は大丈夫？



健脚組はあの上まで行きます。



分岐点。正面は行き止まりでした！



何だ、ギャル達じゃないのかワン。



どうやら正しい道が分かりました。



この辺りから住宅地を離れます。



廃屋の屋根にはこんなものが。ウルトラマンの家？



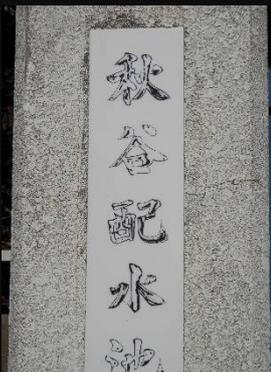
これは表札風のモニュメント。洒落ていますね。



いよいよ山道に突入！



上りきってここで小休止。疲れた～



秋谷配水池。



もしやこれはUFOかも？



無線基地局の通信塔が二本。



道沿いにこんなものが。「私も負けてないわよ」と誰？ いやどう見ても負けています！（アップで撮ることないのにねえ。ハイ）



展望の良い場所に出ました。（水平線が傾かないように撮りましょう）



ベタ凧の海、冬の陽に大島も霞んできました。



この先は立ち入り禁止で上まで行かれず。



ゲート前からは鉄条網に沿って下ります。



山中の窪地にある「大池」。破碎帯により湧出したもので、昭和30年代には水深5m・直径50mもあったそうです。



ジャングル地帯に行く？ まるで“川口浩探検隊”のような・・・(古い) ペンキ塗りの大蛇が出てくるかも！



棚田を見たいという人も時間なく残念！



生活感ある道に出ました。ここも公道？



この椅子は何？秘密のマイスポットか。



海に下る道。まさに“陽の当たる坂道”



行き止まりの道路端でランチタイム。



ちょっとアングルが・・・失礼しました。



こちらは溶け込んでいますね。



ランチ場所の前は外人住宅でした。



この辺りからは江の島が望めます。ここから葉山海岸へ。



御用邸を分ける川に架かる赤い橋上で。周辺は警察官が巡回しており、不審な撮影者(私)を監視していました！
話によれば、この付近でやたら御用邸にカメラを向けていると、監視カメラに捉えられ警備の警察官がとんでくるそうです。
“極秘情報”を教えてくれたこの警察官は、「早めに撮って下さいね」と我々シニアには優しい方でした。メデタシメデタシ！



葉山の海。ここでのんびりしたいものです。



地元の親子。“電柱遊び”をやっているの？まさか・・・ネ。



人気のない御用邸裏の浜辺に行くKWC4組のメンバー。山道は慣れていても砂浜は歩きにくい？



※今日は天候に恵まれ、この時期には絶好のウォーキング日和となりました。三浦半島のイメージはつい海に目が行きがちですが、こうして丘陵地帯を歩くと新たな発見があり今までの印象が違ってきます。今回のコースは二つの水準点を探しながらその周辺部を歩きましたが、写真にあるように相模湾越しに見る伊豆大島と富士山、そして箱根連山や丹沢三山等々、素晴らしい景色に心身ともに満足出来た一日でした。なお我々4組は御用邸前から森戸まで歩き、そこからバスで新逗子駅に向かいました。
←葉山バス停近くの水準点